

開催報告

第23回千代田まちづくりサポート公開審査会

千代田まちづくりサポートは、区内で自主的なまちづくり活動を行っているグループに対して、その活動経費の一部を助成する事業です。下記のとおり、公開で審査を行い、助成グループと助成額を決定しました。

- 日 時 7月23日(日) 13時～17時40分
- 会 場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室 (千代田区神田錦町3-21)
- 内 容 応募グループの活動発表とそれに対する質疑応答や審査等
- 応募グループ数 一般部門8グループ、はじめて部門4グループ
- 助成グループ数 一般部門7グループ、はじめて部門3グループ(右表のとおり)
- 助成金総額 332万円
- ※はじめて部門は書類審査で助成を決定しました
- 問 合 せ 協働まちづくり・総務グループ ☎3233-7556

通番	部門	申請回数(回)	グループ名	助成額(万円)
1	一般	3	番町っこ倶楽部	50
2		2	神田藍の会	50
3		2	あるまっぴ CHiyODA	50
4		1	tea plant club	50
5		1	まちづくり・地域政策研究会	21
6		1	一般社団法人ちよママ	46
7		1	エンジョーイ 歌ンターレ CHiyODA	50
1	はじめて	—	スナックちよだ	5
2			アマルフィファーム	5
3			ちよダン	5

※なお、1グループにつきまして助成取り消しがありました



紹介

千代田まちづくりサポート通信

第23回千代田まちづくりサポート助成グループの活動とイベントを紹介します。

「tea plant club」～メイドイン千代田の紅茶づくりプロジェクト～

イベント紹介 「オリジナルの紅茶と緑茶作りにチャレンジ！」

- 日 時 10月14日(土) 10時～13時30分
- 会 場 パティア麹町(千代田区麹町3-12-11)
- 内 容 オリジナルの紅茶と緑茶作り体験 (茶葉は狭山産を使用予定)
※紅茶作りは、時間の関係で一部自宅での簡易作業をもって完成となります
- 対 象 区内在住者(小学5年生以上)
- 定 員 6名(抽選)
- 参加費 1,500円(狭山紅茶の試飲と狭山オリジナルの菓子付き)
- 締 切 り 9月30日(土) ※10月1日(日)に当選者へ連絡
- 申 込 み 締切日までに下記問合せ先へ (①住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢(学年) ④連絡先 を記載必須)
- そ の 他 応募時の個人情報については、厳重に管理し、本イベント開催のためだけに利用します。



一般社団法人ちよママ

～SNSを活用した千代田区の子育て情報発信および子育て世帯のネットワークづくり～

活動紹介

- ・毎週金曜日に千代田区&周辺区の子育てイベントをLINEにて配信中
- ・ちよママInstagramでは、千代田区内の子育てお役立ち情報を掲載



■問 合 せ ちよママ事務局 ☎ chiyodamama@gmail.com

エンジョーイ 歌ンターレ CHiyODA

～(た)楽しく(ち)力強く(つ)繋り(て)手を取り(と)ともに千代田で歌おう～

活動紹介

- 「募集開始！楽しい歌のサークルが10月25日から始まります！」
- 歌うことで、気分もスッキリ！健康に！口や舌を動かすことは、口腔ケアや誤嚥の予防、肺機能アップにもつながります。懐かしの童謡唱歌、さまざまな歌を口の体操などをしながら、音楽経験が豊富なメンバーと一緒にエンジョーイ歌いませんか。千代田区にゆかりのある山田耕筰や瀧廉太郎など、日本の曲(赤とんぼ、花)を中心に歌います。年明けには、山田耕筰に関連するセミナー、まち歩きツアー、コンサートも予定しています。

- 日 時 10月25日(水)・11月8日(水)・11月22日(水)・12月13日(水) 10時～11時30分
- 会 場 千代田区立九段生涯学習館(予定)(千代田区九段南1-5-10)
- 内 容 歌のレクチャー
- 対 象 区内在住・在勤・在学者
- 定 員 10名(申込順)
- 参加費 無料(年内)
- 問 合 せ エンジョーイ 歌ンターレ CHiyODA ☎ akanekato799@gmail.com



お知らせ

マンション連絡会 開催のご案内



10月28日(土)、第53回マンション連絡会を開催します。参加を希望する方は、事前にお申し込みが必要です。※会員の方以外は参加できません ※会員の方には、別途詳細をお知らせします

【マンション連絡会員募集】

マンション管理組合の理事長を対象に、マンション連絡会の会員を募集しています。入会希望の方は、まちみらい千代田ウェブサイトをご覧ください。お問い合わせください。

■問 合 せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223 ☎ kyojyu@mm-chiyoda.or.jp



イベント

都心の千代田区で“地方の逸品”に出会える場所
「ちよだグルメショップ+ A」

● シーズンフェア～ちよだグルメショップ+ A

～秋のご当地食を楽しむ～ 〈10月2日(月)～31日(火)〉

しだいに秋めいてきました。食欲の秋！ということで、10月特集は新米を楽しむおかず特集と題し、ご飯に合う商品を販売します。

自治体	商品名	コメント
北海道鹿部町 ししかべちよう 北海道鹿部町	ホタテしぐれ煮	噴火湾近海で育った濃厚で甘味のあるホタテ
	昆布佃煮	年に数回しか採取されない天然白口浜真昆布
静岡県西伊豆町 にししいづちよう 静岡県西伊豆町	鰹塩辛1年物	木樽にて自然発酵させ熟成させた塩辛
	万能塩鯉茶漬け	西伊豆の歴史ある保存食



ホタテしぐれ煮



昆布佃煮



鰹塩辛



万能塩鯉茶漬け

■ 問合せ ちよだグルメショップ+ A

千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1階
☎5577-3846 (11時30分～16時)
✉ chiyoda.gshop.plusA@gmail.com

お知らせ

第21回ふれあい福祉まつりに参加します

千代田区社会福祉協議会主催の「ふれあい福祉まつり」は、区に住み、働き、学ぶ、多くの人たちの出会いを通じて、ともに支え合うイベントで、さまざまな体験や活動紹介、グッズの購入ができます。財団では、会場の1つでもある区役所4階にブースを出し、財団の紹介、マンション支援制度等の実施事業のPRをします。ぜひご来場ください。

■ 日 時 10月14日(土) 10時～15時

■ 会 場 区役所1階・4階(九段南1-2-1)、
かがやきプラザ1階・4階(九段南1-6-10)■ 内 容 ①防災・減災コーナー(区役所4階)
②ご近所福祉コーナー(区役所4階)
③縁日コーナー(区役所1階屋外)
④白バイ、ごみ収集車の展示(かがやきプラザ1階屋外)ほか

■ 参加費 無料(一部有料コーナーあり)

■ 問合せ ふれあい福祉まつり実行委員会 ☎3265-1901



イベント

ちよだプラットフォームスクウェア
創立19周年記念イベントPLATFORM
SQUARE

～「再生(リジェネラティブ)」と

「循環(サーキュラー)」から描く都市と地方の未来像～

■ 日 時 10月31日(火) 16時～

■ 会 場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室(千代田区神田錦町3-21)

■ 内 容 トークセッション(第1部)、グルメセッション(第2部)

※詳細、申し込みは右記二次元コードから

■ 参加費 無料(第1部)、5,000円(第2部)

■ 問合せ プラットフォームサービス株式会社

☎3233-1511 (9時～18時) ✉ info@yamori.jp



コラム

マンション

よもやま
話

AEDの設置について

マンション管理士 いいだかつひろ
飯田勝啓

1. AEDとは

AED(自動体外式除細動器)は、心停止状態に陥った人に対して(必要に応じて)電気ショックを与えることにより救命するもので、日本では2004年7月から医療従事者以外の使用が認可され、交通機関、公共施設、百貨店や飲食店を含む商業施設、学校、ホテル、工場などへの設置が進んできました。

2. AEDの効果

心停止傷病者にAEDを用いた応急手当をすることで、生存率は7倍、社会復帰率は13倍になるとも言われ、いかに早く手当をするかが命と社会復帰を左右します。救急車の現場到着所要時間は全国平均で9.4分(総務省消防庁『令和4年版救急・救助の現況』)であり、救急車の到着を待っている間は、手遅れになってしまうことも考えられるのです。

3. まちみらい千代田の支援制度

設置費用の問題はあるものの、近年徐々に、マンション共用部分へのAED設置例が増えていきます。まちみらい千代田では積極的にAED設置を推進し、区内の分譲マンションへの貸与(無償)による普及が進んでいます。実際に、まちみらい千代田から貸与されたAEDを活用して救命処置が行われたケースもあり、この制度は、安全・安心な居住を実現するものといえます。

4. AED設置と費用対効果の考え方

AEDは利用事例が少なく、費用対効果が低いという考え方もありますが、修繕や保守点検とは異なり、これは命に直接関わる問題です。費用対効果で論ずるのではなく、マンションでの安全・安心な居住や、地域貢献の観点から検討されてはいかがでしょうか。



がんばる中小企業 応援リレーコラム

第2回

中小企業も標的！セキュリティ対策ははじめの一歩
中小企業診断士 土田 哲

中小企業も標的になっています

中小企業もサイバー攻撃の対象となっていることは、新聞記事の件数の増加からも伺い知ることができます。

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)は、中小企業の3割以上は、情報セキュリティ対策投資を行っていない。その理由は、必要性を感じていないという調査結果を報告しています。

しかし、IPAが実際の中小企業において実施した調査では、調査対象のすべての中小企業においてサイバー攻撃を検知しています。また、警視庁は、ランサムウェア被害にあった企業は、復旧期間は7割超が1週間以上、復旧費用は7割超が100万円以上という調査結果を報告しています。

簡単にサイバー攻撃ツールを作れる時代

サイバー攻撃ツール作成キットが、海外のサイトで公開されています。ITに詳しくなくても、簡単にサイバー攻撃ツールを作れる時代です。東京都の高齢者が特殊詐欺にあふ確率は約0.1%です。

簡単にサイバー攻撃ツールを作れる時代において、犯罪者も使っているはずで、今後も増えるはずで

連載

セキュリティ対策ははじめの一歩

これまでセキュリティ対策に投資をしてこなかった事業者様は、まずはIPAの「5分でできる!情報セキュリティ自社診断」を行ってください。回答の採点結果で、どのように取り組むべきかが示されています。

次にIPAの「情報セキュリティ5か条」をお読みください。これは、今後のセキュリティ基本方針の柱となります。

さらに「セキュリティ桶の理論」を知ってください。セキュリティ対策は、強固な取り組みを施したつもりでも、1つでも弱い箇所があると、そこから破られてしまいます。

「セキュリティ対策に終わりはない」「常に、弱い箇所がないかチェックを続ける必要がある」ということを知っておいてください。

セキュリティ対策の相談窓口

セキュリティ対策に踏み出したいが、リソースが不足している。そのような事業者様向けに、無料の相談窓口を紹介します。国の「全国のよろず支援拠点」と、東京都の「サイバーセキュリティ相談窓口」があります。

セキュリティ対策の助成制度

セキュリティ対策に踏み出した後は、終わりの無い戦いが待っています。その戦いを助けてくれる助成制度を紹介します。東京都の「サイバーセキュリティ対策促進助成金」と、国の「IT導入補助金「セキュリティ対策促進枠」」です。

全文は
こちら!